



男子キッチン

8/6

1 回目は、今が旬の夏野菜を使った4品作りにチャレンジ！ 講師：奥山輝子さん
メニューは「なすの肉みそチーズ焼き」「マグロのねばねばソースかけ」などを作り、出来栄を競いました。
今年は3回（2回目9月6日、3回目10月13日）を実施します。良い仲間作りもできればいいですね！



参加者の声 「仲間と一緒に料理が作れて楽しい」「料理の幅が広がり応用できる」「調理の後のビールがうまい」

6/19 球技大会

球技大会も今年で25回目となりました。
晴天に恵まれ3会場とも今年は競技ができました。ソフトバレーボールは、元気なプレーと楽しそうな歓声で大盛り上がりでした。
ゲートボールは参加された皆様が和気藹々と楽しんでいました。お互い切磋琢磨しながらプレーしているのがとても印象的で清々しい気持ちになりました。
ソフトボールは年配の方と若者の混合チームがあり、年代に関係なく楽しむ姿に皆さんの一体感がこちらにも伝わってきました。
どの競技も参加されている方々の笑顔が素敵で、地区の皆さんと親睦を深めた大会になったことでしょう。

優勝：仲俣
2位：柳原団地
3位：布野

優勝：村山
2位：柳原混合
3位：布野

優勝：仲俣
2位：柳原団地
3位：小島



上越へ「史跡めぐり」

5/21

柳原地区恒例行事「史跡めぐり」は、晴天に恵まれ上越「戦国の名将上杉謙信公の郷めぐり」の旅で、歴史に関心のある40名が参加しました。
最初の訪問先である「高田城」では、「三重櫓」を見学し、「春日神社」では、地元のボランティアガイドの説明を聞きました。岩の原葡萄園は、現存する最古のワイン貯蔵庫を見学して、ワインの試飲をしました。
皆さんおいしくワインをいただきました。
多くの思い出とともに充実した一日を過ごすことができました。



健康ウォーキング



ハードな運動は苦手という人でも手軽に行える「歩き方教室」を実施。正しい歩き方を学んで健康な生活を送りましょう。



筋力トレーニングとストレッチ



基礎的な体操からからだを若く良い状態で保ちましょう。
※「布野さわやか倶楽部」と「中俣ハッピーフレンズ」が毎週活動しています。

アヤメの里 復活大作戦

柳原駅に雨ニティー設置

竹村製作所さん
ありがとうございます！
柳原駅ホームに
アメニティー

昨年、まちづくり計画事業の中で柳原地区をふたたびアヤメの里に復活させようとボランティアの皆さんのご協力をいただき、総合市民センター周辺と長電柳原駅のホームにアヤメの苗を植えました。駅ホームには水源が無く散水に苦慮しておりました。誰かからもなくアメニティーのような貯水設備があれば便利だよねとの声がありました。

無理を承知で竹村製作所さんにお力添えをお願いしたところ、地区のお役に立てることならアメニティー200をご寄贈頂けることになりました。駅ホームへの設置は、長電さんに許可をいただき今度は誰に施工をお願いするかです。地区内で職人さん顔負けの技術をもつ会津明彦さんにお願いしたところ、気持ちよく承諾いただき立派に取り付け工事をしていただきました。本当にありがとうございました。

改めて、施工までのご配慮を頂いた竹村製作所様、運搬に協力いただいた社員の方々、施工を気持ちよく引き受けていただいた会津さん、いつも駅のアヤメのお世話をいただいている原さん、苗を頂戴した皆さん方、本当に感謝です。きっと来年も、素晴らしい美しい花を咲かせてくれると期待しています。



ちよく承諾いただき立派に取り付け工事をしていただきました。本当にありがとうございました。



カーブミラー清掃・点検

8/21

毎年夏に、交通2団体は地区内のカーブミラー（212本、281枚）を1枚ずつ磨き、不具合がないか点検しています。しっかり安全確認をして事故のない街にしましょう！



内科・呼吸器科・アレルギー科
中島 病院
柳原 2222-6 TEL.295-0600
総合医療センターすこやか
(癌治療、パーキンソン病、慢性疲労など)
TEL：217-6077

内科(一般・消化器)・外科
医療法人 **富竹クリニック**
TOMITAKE CLINIC
各種健診／予防接種／胃カメラ
長野市富竹1628-2(富竹の里となり) ☎026-295-6643

にいざわ皮ふ科
長野市柳原 2221-6
TEL.026-255-7238/FAX.026-255-7335

「あなたがい心、やさしい手」「24時間、365日」安心をサポートします。
ケアライフ柳原第2(住宅型有料老人ホーム)
長野市柳原2223番地1 TEL026-255-7716
ケアライフ柳原(介護付き有料老人ホーム)
長野市小島785番地 TEL026-236-8200
お気軽にお問い合わせ下さい
エフピー介護サービス株式会社

11月6日(日)資源回収を行います

回収場所：柳原総合市民センター 駐車場
新聞紙・雑誌・段ボール・アルミ缶・ビール瓶・一升瓶・古着
※地区内にお住まいで回収場所まで持ってこられない方（高齢者のみの世帯・体の不自由な単身者など）、回収に伺います。問合せは事務局まで。

編集後記 <ぶらり散歩>で「へー」と驚くようなことがたくさん。柳原についてもっと知りたくなってくる。<やなぎはら探検隊>いざ出発！ ㊄

柳原地区住民自治協議会
長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365
いきいき わがまち やなぎはら 検索
E-mail : yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp
お気軽にお立ち寄りください。

柳原地区住民自治協議会だより
平成 28 年 9 月 15 日 発行 発行責任者 住民自治協議会 会長 中野 元男 第 29 号

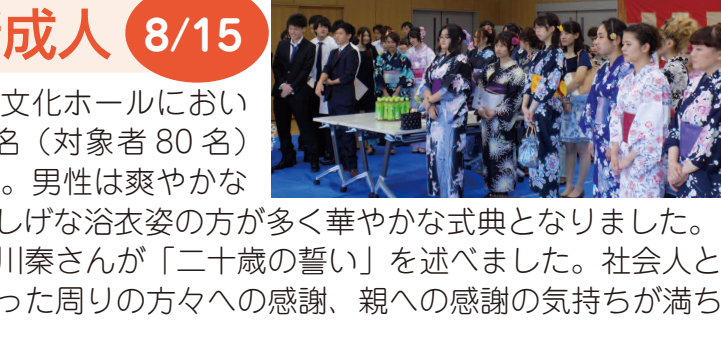
7/7 ぶらり散歩

ぶらり散歩第2回は、布野地区内で25名が参加のもと、特養老人ホームふれあい荘にて詳しい説明があり、行き届いた施設に参加者は感銘を受けた様子でした。その後隣の古野神社に参拝し、障がい者の自立を目指して働く「そば工房さずな」に移動、製造見学と地粉を使った、そば・うどんなどの試食をさせていただきました。一味違う美味しさとの評価があり、そば工房の存在が認識された楽しい見て歩き散歩となりました。



風をおこし、波をつくろう！

～バルセイロ応援バスツアー～
参加者も増えてきた。初めて参加した人が「楽しかった。また、行きたい。」と帰りのバスで言ってくれる。何度か参加した人は「次は、いつ?」「また、行くからね。」と。参加者の輪が広がって、南長野へのバスが定着してきたことで、新しい風が少しずつ吹いてきたことを感じる。最初は、個人でツアーに参加したようなバスの中も、少しずつ顔馴染みができてあたたかな雰囲気。往復1時間ちょっとの時間と南長野のピッチでサッカー観戦したという体験が仲間意識を育んでいるのか。「〇〇です。次のバス、またお願いします。」「バルセイロのバス、申し込みしたいんですけど。」電話待っています。
ちなみに、スタジアムに着いてからは、個別行動です。出発時にはバスに乗ってくださいね(∩_∩)



猛暑、真っ只中、東部文化ホールにおいて成人式が行われ、57名(対象者80名)の新成人が参加しました。男性は爽やかなワイシャツ姿、女性は涼しげな浴衣姿の方が多く華やかな式典となりました。
新成人を代表して、細川秦さんが「二十歳の誓い」を述べました。社会人となって今までお世話になった周りの方々への感謝、親への感謝の気持ちが満ち溢れた言葉でした。
記念撮影を終え、大学習室へ会場を移し「先生や友達と語る会」が開催されました。小学校時代のスライド写真を放映し、ワンシーン毎スクリーンに映し出される度に忘れ去られた思い出がよみがえり大きな笑いが起き、また恩師との再会で会話に花が咲きました。

*** 写真に見る柳原の今昔 ***



水内坐一元神社 御柱 昭和43年7年に一度の小島の御柱祭 中央が先代の長沼宮司様



昭和48年9月27日 中俣区獅子舞 小林忠蔵氏宅での獅子舞



昭和17年 鎮守の森の音楽家 布野青年会音楽隊

自治協って何？に答える

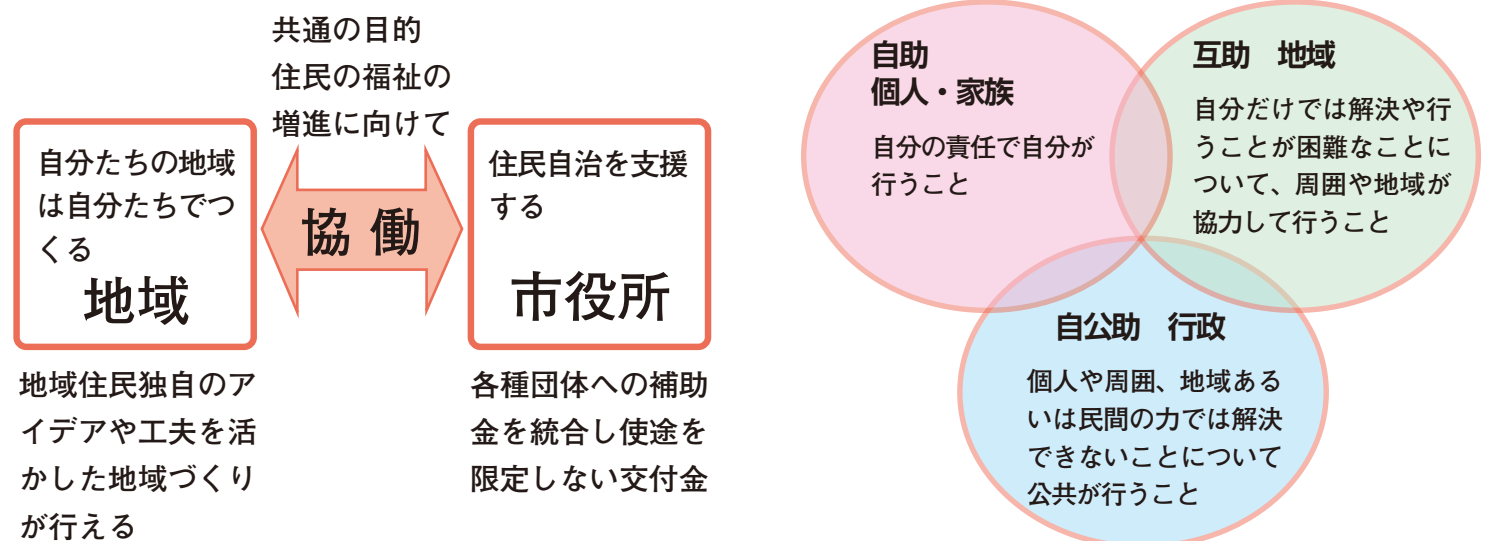
8/20

柳原地区住民自治協議会は平成20年5月に設立して今年で8年を経過、2年後に10周年を迎えることから、住民のみなさんに改めて自治協に対する認識を深めてもらおうと「都市内分権について学ぶ」研修会を開きました。

「元気なまちづくり市政出前講座」を活用し、市地域活動支援課 岡澤雅彦係長が「都市内分権について」と題して講義しました。

講座は、市が32地区の自治協を設立した目的と経過を説明、「自分たちの地域は自分たちでつくる」を地域は掲げ、市は地域を支援し協働して住民満足度を高める「都市内分権」の仕組みを説明しました。

また設立当初と今では社会環境や住民意識が変化しており、支所と住自協の距離が離れる現象が生じていること、次々と新事業が加わることから自治協役員や区長の役割負担が増大している等の課題も示されました。今後は、自治協活動には多くの住民が加わることが大切、活動への柔軟的対応も必要との講義に、約50人の参加者は熱心に聴講していました。



社会を明るくする運動住民集会 7/28



7月は、「社会を明るくする運動」の強化月間です。長沼神社宮司の長沼忠行さんを講師に住民集会を開催しました。長沼さんは、長野刑務所の教戒師を15年間、務めています。受刑者に対して説いているお話をいただきました。

- ・日本人の勤労観 働くことは尊いこと(西洋では、労働は罰)
- ・日本人の宗教観 宗教は信じるというより感じる
- ・柔道・茶道・書道など 道とは、スキルではなくメンタルを教えること
- ・六根清浄 日本人は昔から清潔を愛し、清潔感は道義感覚と表裏一体昔のひとは山登りの時など「六根清浄」を唱えた。
- ※六根とは、眼・耳・鼻・舌・身・意の働きのことで、眼は不浄を見ない、耳は不浄を聞かない、鼻は不浄を嗅がない、舌は不浄を味あわない、身は不浄に触れない、意(心)は不浄を思わない、つまり身も心も無垢清浄になろうという祈りの言葉が「六根清浄」である。
- ・障がいのあることを(不具)「福」として大事にした(恵比須・福助など)「日本人の心」を改めて考えさせられた住民集会となりました。

わんわんパトロール隊



パトロール隊に入隊し、活動しているわんちゃんが増えています。入隊希望の方、お待ちしております。

柳原地区総合防災訓練

8/28

昨年雨で中止となった長野市総合防災訓練が地域住民をはじめ、長野市、県警、消防、自衛隊などの各防災関係機関や、電気、ガスといったライフラインを担う民間事業者など30あまりの機関合わせて800人余が参加して大規模に実施されました。

今回は、普段見ることのできない、訓練を見る機会をいただきました。災害時には、救助・救援・復旧活動等にその力を十分に発揮していただくと、心強く思った次第です。

近年頻発している地震をはじめとする災害は、発生の予測が難しいことから、普段からの備えにより、少しでも被害を抑えることができるという意識を持つことが大事です。

住民自治協議会も、避難訓練を中心に毎年訓練をしています。



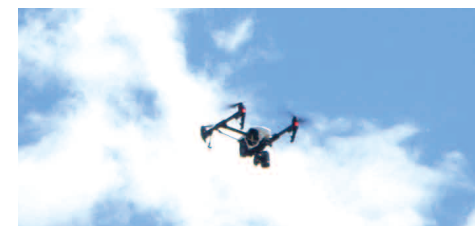
ボランティア受入れ訓練



吹き出し訓練



土のう積み訓練



ドローンを飛ばし小学校周辺の被害状況を把握



高所からの救出訓練



一斉放水



シェイク・アウト 全員者参加
自分の身を守る安全行動を！
落ち着いて、揺れがおさまるまで身を守る



延焼阻止



一斉放水



施設からの避難



災害時に役立つプライベートルーム

災害に強い地域社会を作るためには、我々住民一人ひとりが、日頃から防災に対し関心を持ち、地域の安全に想いをはせ、災害が発生した時は、適時・的確に行動できるような準備をしておくことが大切であるとされており、特に、大規模な災害が発生した時は、地域単位での災害対応がカギであると強く感じているところ。

これからも、「安全で住みよい、災害に強いまち」を作るため、住民自治協議会をコアに、災害に立ち向かうことができる組織作りを進めて参りたいと考えております。

これからも、地域住民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



多重衝突事故を想定

「乗用車4台とバス1台の車両衝突事故」により多数の死傷者が発生

多数発生した負傷者をトリアージし、速やかに医療機関に搬送、または、応急救護所へ搬送し、応急手当の実施(トリアージとは医師らが症状に応じて治療の優先順位決める)



車両より救助活動



応急救護所へ



応急救護所

区長会「防災研修」～北陸に学ぶ～

区長会は、災害から住民を守ることや地域の史跡検証を目的に、「石川県危機管理対策監室」「小松市民防災センター」「一乗谷朝倉氏遺跡」を訪ねての研修を7月に行いました。

まず訪ねた「石川県危機管理対策監室」では、県庁6階にある「危機管理対策監室」で集中管理されており、県庁屋上カメラほか県内に設置されているカメラ映像が、3面ある100インチマルチ画面に映し出されていました。説明者からは、県内の市町村とは気象情報の共有化が図られている内容の説明がありました。

ここで、石川県は平成19年に能登半島地震に遭っていることから、この震災を踏まえて震災対策専門委員会を組織、対策推進大綱を作成して防災体制を整えているとのことに、震災に対する緊迫感を感じました。

また北陸電力「志賀原子力発電所」をかかえ、原発から30キロ圏内の38市町が原子力防災訓練で除染訓練を行っているなど、長野県との違いを知るとともに、移動するバスの車窓から見える原発施設と送電線を見ながら、豊かな暮らしと背中合わせに抱える安全性の危険を身近にして生きる人がいることを再認識しました。

次に、小松市民防災センターでは、セットされた部屋で3D映像を見ながら震度7の地震の状態を体験、眼前に揺れるビルからガラスの破片が落下し、電柱が次々と倒れて屋根瓦がずり落ちる3D映像に、体験室の椅子が激しく動き自分の身の安全確保も自由にならない状況に置かれることの体験をしました。

史跡研修は、福井県の「一乗谷朝倉遺跡」を見学、戦国時代に朝倉氏五代が103年間に亘って越前の国を支配した城下町跡で、滅びて田畑化した地から昭和42年以降に発掘され、武家屋敷・寺院・職人屋敷や道路まで、当時の街並をほぼ完全な姿で復元された国指定の特別史跡の見学でした。

今回の研修から、①模擬体験した「震度7相当」の地震遭遇に対する備えと対策の再構築②柳原の歴史と存在する史跡の掘り起こしの必要性を改めて考える研修でした。



石川県危機管理対策監室(石川県庁)で「危機対策」の説明を受ける



小松市民防災センターにて